

地域リハビリテーション支援センターの論点整理(案)

論点1 現在の業務内容における課題

- (1) かかりつけ医、ケアマネジャー、介護従事者の事業参加の強化が必要
- (2) 在宅や介護予防分野に対する支援ニーズの高まり
- (3) 地区医師会、行政等の関係団体への事業参画要請
- (4) 支援センターの所在する区市町村地域以外での事業実施（広域的な事業実施）

論点2 新たな業務内容における課題

- (1) 地域リハビリテーション活動支援事業（介護予防）について、今後は区市町村への支援が必要
- (2) 災害時のリハビリテーション支援について、平常時からの体制づくりが必要
- (3) 若手リハ職に対する人材育成について、今後も新たな方法による実施が必要

論点3 指定数に関する課題

- (1) 二次保健医療圏は広く、在宅等に対する支援ニーズが高まる中、支援センター1か所だけでは十分にカバーできない
- (2) 連携施設・協力施設制度があるが、支援センターからの委託に基づく実施
- (3) 26年度から公募制導入後、支援センターを目指す医療機関が増加